

■日帰り・宿泊・おすすめの宿
遊び心がつまった女性に人気の旅館

竹取亭円山



露天風呂がついた客室「竹取亭中納言通り4丁目」



日替りの会席料理

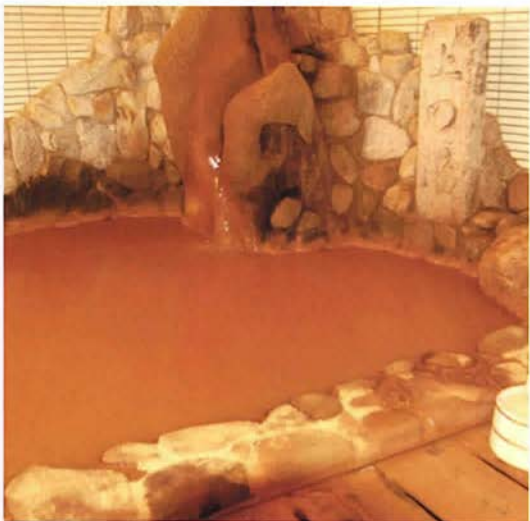
利用客の7割が女性という竹取亭円山。亭主自身がメインホストと自称するだけあって、女性心をくすぐるさめの細やかなサービスが人気。約40種類の浴衣から好みのものを選べたり、御所車で部屋まで案内してくれたり、お座敷でんぶらなどなど。年に二回設けられる「男性立入禁止の日」では様々なイベントが組まれ豪華賞品も。竹取亭の別邸にあたる「康貴」へも通

行手形をもって伺うことも。遊び心のつまった旅館。

神戸市北区有馬町1364-1
☎078190410631
<http://www.lakeforiei.com/>

有馬温泉駅から最短のお宿
情緒ある岩風呂で金泉の湯を。

有馬御苑



金泉の湯は、情緒あふれる岩風呂



自慢の和牛をどうぞ

神鉄「有馬温泉駅」から、どのお宿よりも近い有馬御苑。有馬川沿いの賑やかな立地にありながら、宿へ一歩入ると、静寂な空気がつろぎを与えてくれる。有馬特有の金泉の湯は、情緒ある岩風呂。透明な銀泉は、ひのき造りの露天風呂、展望大浴場など、様々な浴場で楽しむことができる。

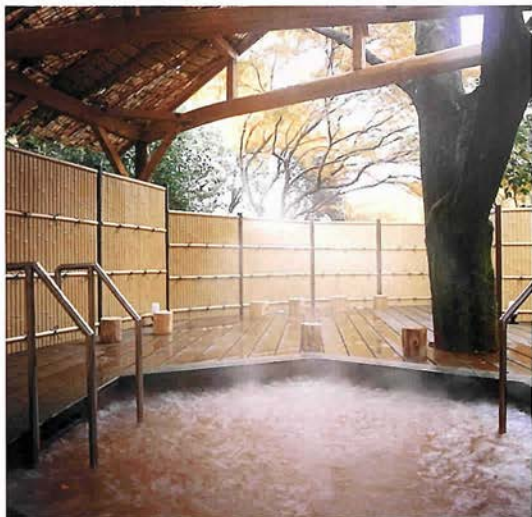
もうひとつの自慢は、和牛。なるほど、しゃぶしゃぶ、ステーキや、宴会料理

のすきやきに至るまで、本当においしい和牛が食べられると評判のお宿。

神戸市北区有馬町1296
☎078190413730
(予約専用)
<http://www.anma-gyoen.co.jp/>

■日帰り・宿泊 おすすめの宿
有馬随一の紅葉の宿

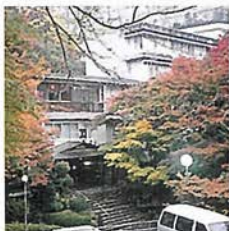
ねぎや 陵楓閣



「ひぐらしの湯」の金泉露天風呂

「ねぎや」のいわれは、古くから神官の宿だったこともあり、禰宜（ねぎ）から「ねぎや」の名をつけた。

楓の古木に囲まれた建物は、有馬一紅葉が美しい旅館と評判。毎日仕入れる新鮮な食材の日替りの懐石料理、木々に囲まれた2つの露天風呂は、ゆったりとした時の流れを演出し又、お風呂を気軽に利用してもらおうと、料金もお手頃。入浴じきの日帰り料金は、季



鮮やかな紅葉に囲まれたねぎや陵楓閣の秋

節の味覚が詰まった「段重ね弁当」「あじさい」など4350円。

神戸市北区有馬町

153712

☎078-904-0675

<http://www.negiya.jp>

元湯古泉閣

自家泉源から湧出する天然の恵みを満喫



自家泉源をもち豊富な湯量を誇る。写真は展望風呂「八角堂」

6万坪という広大な敷地の中に建つ元湯古泉閣。フロントから眺める景色は絶景。

自家泉源からは、1時間に6トンという豊富な温泉が湧出する。浴場の温泉は1日2回全量入れ替え清掃をし、混入物のない天然100%のお湯を使用。また敷地内には、精進料理「慶月」やログハウスタイプの宿泊施設「ザ・ロッジ アリマリゾート」では特撰神戸牛と活あわびを愉しむ特別プランを実施。



松茸をふんだんに使った豪華な精進料理

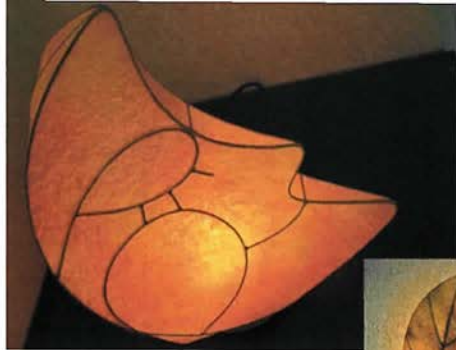
神戸市北区有馬町

145511

☎0120-330000

<http://www.kosenkaku.com>

「手づくり照明教室」を全国で展開する照明塾の橋田裕司さんが、有馬温泉を温かい光で包まれた町にしようとプロデュースした「工作バー」がオープンする。和紙や木の皮で作るオリジナル照明は、あたたかみのある光を放つ。観光客だけでなく、有馬に住む人たちにも照明を作ってほしいとのこと。「ご自分で手作りしたものは、愛着がわくでしょう。だから、きつと皆さんもお家に飾っていただけれると思うんです」という橋田さんが、奥様と一緒に、照明作りの指導にあたる。ただのカルチャ



一杯飲みながらハンダ付け…?

「工作バー」でオリジナル照明を手作り



有馬温泉婦人会の皆さんが、照明づくりにチャレンジ



照明デザイナーの橋田裕司さん、奥様の眞佐子さん

教室ではおもしろくないので、バーの形式にして、夜は大人が一杯飲みながら楽しく工作できるようにしたのだという。照明は、2〜3時間程度で完成。かつての工作少年はもちろん、女性でも簡単に作る事ができる。蛍光灯の光とはちがう、自然の和紙や木を通した光が人を癒す「ライトセラピー」を提唱している橋田さん。「この照明を、テーブルに置くとお家の様子ががらりと変わります」とのこと。有馬の新しい「光」作りに、皆さんも挑戦してみては。

悠久の時を感じる名旅館

陶涼御所坊



1191年創業、多くの偉人たちが逗留した歴史ある旅館。

往時をしのばせる趣きのある建物の中に、新しさを融合させた「ネオジャパネス」の雰囲気。岩風呂、素材そのものの味を大切にした豪快な料理など、独特の風情があり、多くのファンをもつ。

■陶涼御所坊

神戸市北区有馬町888

☎078-904-0551

<http://www.goshibo.co.jp>

有馬歳時記

ありまさいじき

有馬に関する文献・資料を集めて 「有馬文庫」オープン

歴史の古い有馬に関する資料を集めた「有馬文庫」が有馬地区福祉センターにオープンした。これまでに集められたのは、昔の地図、写真、江戸時代の版本、写本をはじめ貴重な史料、ポス



有馬に関する資料を集めた有馬文庫



文庫開設の中心となった有馬連絡所の妻木敏彦所長

ター、ガイドブックや、有馬が登場する小説、マンガに至るまで。現在も収集中だ。主催は有馬ふれあいのまちづくり協議会。9月12日のオープニング式典では、記念講演として、神戸国際大学教授・桑田優さんの「江戸時代の有馬」が行なわれた。有馬文庫では、文献収集だけでなく、昔を知るお年寄りにお話を聞く会なども開いている。

有馬連絡所

☎078-904-0081

デイープな人形劇に 大人も抱腹絶倒

昨年大好評だった人形劇公演が、今夏も開催された。人形作家・飯室康一さんによる、ちよっと大人の人形劇。駅のホームを舞台にした無声劇は、酔っ払いの動きに感嘆の嵐。ひなびた温泉旅館を舞台にしたドラマには、観客から笑いが絶えなかった。

この人形劇は、温泉を「泊」食付で楽しむだけでなく、お料理を外で食べたリ、入浴後に遊びに出かけるなど、夜の楽しみ方が選べる「泊食分離」を提案するためのイベントのひとつとして開催された。こうした楽しみが増えれば、有馬の夜ももっと楽しくなりそうだ。



大人たちが楽しんだ人形劇だった



人形を操る飯室康一さん

有馬温泉ガイドマップ





④ 月光園鴻臚館

落葉山の絶景と滝川のせせらぎ、非日常を堪能くださいませ。

神戸市北区有馬町318
TEL.078-903-2255
<http://www.gekkoen.co.jp>



有馬のお宿

有馬は日本最古の温泉。
古来より日本人を癒してきた温泉地で
身も心もリフレッシュしませんか。



⑤ 月光園 游月山荘

マクロビオティック料理と源泉露天風呂で、美容と健康を堪能くださいませ。

神戸市北区有馬町318
TEL.078-904-0366
<http://www.gekkoen.co.jp>



① 有馬 グランドホテル

9階の展望大浴場は眺望が良く、さまざまな場が楽しめる。特に好評です。

神戸市北区有馬町1304-1
TEL.078-903-5489
<http://www.arima-gh.jp>



⑥ 兵衛向陽閣

2006年9月9日、9階の庭園に新浴場「三の湯」がオープン致します。

神戸市北区有馬町1904
TEL.078-904-0501
<http://www.hyoe.co.jp>



② 中の坊瑞苑

静かで料理自慢の宿。12歳以下のご宿泊はお断り致します。

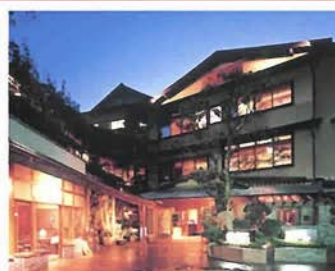
神戸市北区有馬町808
TEL.078-904-0781
<http://www.zuien.jp>



⑦ 角の坊

今に伝えしゆかしき心。真心込めたもてなしと料理自慢の老舗宿

神戸市北区有馬町878
TEL.078-904-0771
<http://kadonobou.com>



③ 陶湊御所坊

鎌倉以来800年古式温泉館。素朴で野趣溢れる山家料理を。

神戸市北区有馬町858
TEL.078-904-0551
<http://www.goshobo.co.jp>





12 奥の坊

有馬温泉各駅より歩いて5分。十二坊の一坊を継承する老舗旅館。



神戸市北区有馬町1206
TEL.078-904-0035
<http://www.okunobo.co.jp/>



8 銀水荘別館 兆楽

二泉十二浴。二つの金泉、十二の浴槽。温泉三昧のひとときをどうぞ。



神戸市北区有馬町1654-1
TEL.078-904-0666
<http://www.choraku.com>



18 古泉閣

広大な敷地と良質で湯量豊富な自家泉源の温泉が自慢の宿。



神戸市北区有馬町1455-1
TEL.078-904-0731
<http://www.kosenkaku.com>



9 銀水荘別館 兆楽別邸 紫貴

二泉十浴の「兆楽」に、湯籠りの別邸「紫貴」が誕生いたしました。



神戸市北区有馬町1654-1
TEL.078-904-0666
<http://www.choraku.com>



14 竹取亭円山

かぐや姫に愛情を注ぐ翁のように一人ひとりのお客様をおもてなし。



神戸市北区有馬町1364-1
TEL.078-904-0831
<http://www.taketoritai.com>



10 ねぎや陵楓閣

豊かな自然の中で味わいのお料理と和みの笑顔でくつろぎの一時を。



神戸市北区有馬町1537-2
TEL.078-904-0675
<http://www.negiya.jp>



15 御幸荘花結び

花をテーマとした、居心地感を追求し、お料理やおもてなしに真心を込めて。



神戸市北区有馬町351
TEL.078-904-0166
<http://www.hanamusubi.co.jp>



11 有馬御苑

太閤橋の前!観光案内所にも近く、浴衣で温泉街のお散歩にどうぞ!



神戸市北区有馬町1296
TEL.078-904-3737
<http://www.arima-gyoen.co.jp>

神話の時代から、
数々の歴史舞台になってきた
日本最古の温泉「有馬温泉」



有馬温泉寺縁起絵巻(江戸時代)兵庫県立歴史博物館蔵 薬師如来により導かれる行基

名湯・有馬温泉は、採掘ではなく自然に湧き出てきた湯であるため、古くから利用されてきたことは間違いない。有馬温泉の発見に関しては、神話の時代のこんな伝説が語り継がれている。「大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこなのみこと)の二神が有馬を訪れた際、三羽のカラスが水たまりで水浴びをして傷を癒しているのを見て、これは温泉であると知った」。

伝説ではなく公式に、なぜ有馬が日本最古の温泉といわれるのかといえば、『日本書紀』にその名が登場するからだ。六三一年、舒明天皇が「摂津国有馬



有馬温泉寺縁起絵巻(江戸時代)兵庫県立歴史博物館蔵



秀吉が造らせた湯殿の遺構が阪神淡路大震災により発見され、「太閤の湯殿館」として公開されている。写真は岩風呂。



歴史の古さは、日本第一神霊泉の碑で示されている(金の湯の右手に建つ)



有馬温泉にある「ねがいの庭」には、右手に三羽のカラス、左手に行基の像がある

温湯に幸す」と記されている。この有馬御幸の記録は、天皇が温泉を訪れた最初の記録だといふ。その後、孝徳天皇が三カ月にわたって滞在し、ご入湯されたと書かれている。孝徳天皇のお子は、のちに中大兄皇子に謀反の疑いをかけられ、処刑された悲劇の皇子である「有間皇子」であるが、孝徳天皇は子宝の湯として知られた有馬の湯に入り、効験あってお子を授かったといわれ、皇子の名は有馬と何か関係がありそうだ。

その次の歴史舞台は奈良時代。高僧・行基が伊丹から有馬に来る途中、行き倒れの病人を助けたところ、薬師如来の姿となり、有馬に導かれた。行基は、当時万病の薬とされた温泉の湧き口に、薬をつかさどる薬師如来像を祀り、お堂を建てたのが温泉寺の縁起だと言い伝えられている。次は平安の時代、有馬が大洪水に見舞われ、大被害を受けた後。大和・高原寺の僧であった仁西が、熊野権現のお告げによって有馬を訪れ、有馬を再興。薬師如来を守護する十二神将にちなんで、十二の宿坊を作った。

名に「坊」とつく旅館は、今も有馬に残っている。

そして、有馬繁栄に貢献した「有馬の三恩人」のもう一人は、豊臣秀吉である。秀吉は生涯にわたり九回も訪れたといい、入浴だけでなく、茶会を開いたり、洪水が起きないように川を整備したり、多くの活動を行なった。そんな有馬に御殿を建設することとは、秀吉最後の夢だったであろう。秀吉は「湯山御殿」建設を命じるが、そこを訪れることのないまま、この世を去った。そのまま幻となった秀吉の「湯山御殿」の遺構が、阪神・淡路大震災の被害を受けた極楽寺の床下から出土した。現在、その場所を「太閤の湯殿館」として、遺構や出土品が公開されている。かつて、病気を治す湯治場として知られていた有馬温泉。時代は変わり、温泉旅行の目的は観光・レジャーとなり、現在は再び、健康に生きるための癒しの場として注目を集めている。訪れる目的は変わっても、有馬温泉は人々の憧れであり、また名湯であることに変わりはない。

神戸 住まい イズム

KOBE
Suma-ism



海と山、そして都市。
 バランスの良い住環境は
 全国、いや、世界に
 神戸が誇れるもののひとつ。
 そこに、生活を楽しむ
 芸術を愛する神戸人たちの
 心地よいこだわりが重なる。
 神戸住まいイズム…。
 この街の住文化には
 個性、自由、そして
 伸びやかな「主義」がある。

Contents

- 27P... 建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる。
- 34P... 住まいのFAQ
- 36P... 神戸エリア注目の住まい
- 42P... 芦屋山手を訪ねて
- 44P... 山芦屋の濃邸プロジェクト
- 45P... DIYをはじめよう
- 46P... マンションは外断熱の時代へ





(株)アンヌーヴォ 生活美学倶楽部
榎本靖子邸 30P



画家
中西勝邸 28P

家の個性は、住む人の個性そのもの。

日々の生活や、思想、趣向、人生が

住まいに自ずと刻み込まれ

空間はひとつの世界となる。

神戸の景観を彩る数々の名建築を

その手で生み出してきた建築家

瀬戸本淳氏が神戸の文化人宅を訪ね

住まいのイズムに迫る。



瀬戸本淳 プロフィール

JIA登録建築家。APECアーキテクト。一級建築士。
株式会社瀬戸本淳建築研究室代表取締役。

1947年神戸市生まれ。神戸大学卒。鹿島建設、
安井建築設計事務所を経て、1977年瀬戸本淳
建築研究室設立。世良美術館、月光園鴻臚館、
兵庫県司法書士会館などを手がける。神戸市建
築文化賞、兵庫県さわやか街づくり賞、神戸市景
観ポイント賞など、受賞歴多数。神戸を代表する
建築家として活躍するかたわら、若い芸術家の支
援など文化活動にも積極的に携わっている。



書家
高砂京子邸 32P

続
建築家・瀬戸本淳氏と
神戸の住まいを訪ねる。

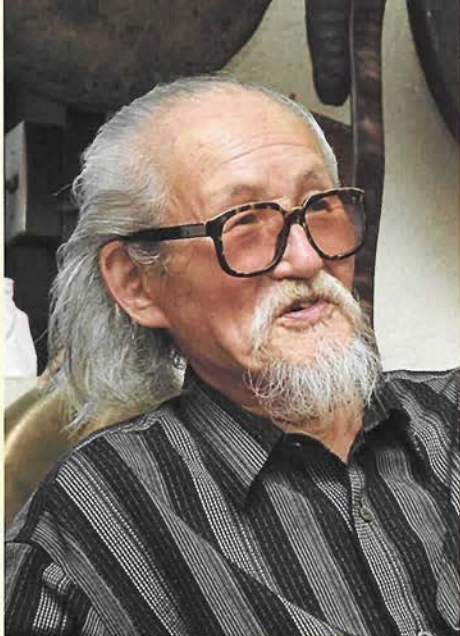
画家 中西勝郎

「歴史めぐり、世界めぐり、いや、宇宙めぐりができる空間です。時空を飛び越えた宇宙が、ここにはあります」。ため息まじりに瀬戸本氏はそう語った。

古今東西のものが満ちあふれ雑然としているリビングに、5年の歳月をかけ世界25か国を旅した中西先生の世界観が垣間見える。原始美術や民芸品に深

い関心を寄せる中西さんは言う。「先祖のものを大切にすると言うことは、先祖、父母、先輩を敬うことだ」と。「中西さん自身が面白いと思うものが置いてある。面白いと感じることがエネルギーなのです」と瀬戸本氏。ジャングルのように草木が生い茂った庭は、中西さんの「仕事」が随所に。石を積みあげた

階段、陶器の欠片を埋め込んだ小径、手づくりの柵など、温もりのある「作品」にはそれぞれ完成の日付が記されている。実をつけた大きなカリンの木が、この家の45年の歴史を物語る。「日常を超えたところに、中西先生の日常があるのでしょ。しかし、45年の年月かあ…」。築家を感嘆させた。



楽器が好きな中西さん。
銅鑼を叩くと、お腹にまで
ずっしりと響き渡った。

「立体的に生きることが
大切」と語る画家の中西さん。
そのお宅は立体どころか、
時間軸まで超越しているようだ。



ポルトガルの彫刻、メキシコのどくろ、
六甲の護国神社の骨董市で
見つけた皿、スーパーボール…。
リビングルームにはさまざまなものが
同列に鎮座している。

「凄いなあ、凄いなあ」と、
門に入って圧倒された
様子の瀬戸本氏。
「蔓草がいつの間にか
こんなに伸びてしまって…」と
中西さんのご夫人。
玄関ドアのノブは古い
アイロンを利用しており、
洒落ている。



中西さんの自慢のひとつが
この表彰状。0歳の時の
「健康優良児」の表彰だ。
82歳になった今も、
リビングに大切に
飾ってある。

「これはすごい…」と
瀬戸本氏も絶句のトイレ。
エキゾチックでゴージャスな
タイルは、中西さんが
ポルトガルから
仕入れたもの。

アトリエは離れに。
窓、そして天窓から
光がやさしく差し込む。
静かな場所だ。

アトリエの外には、何やら
怪しげなスペースが。
棚の上に「タメシニイカと
カイニシメタ」とある。
上から読んでも、下から
読んでも…。
ここは中西さんが考えた
「回文」のギャラリーのようだ。

アトリエともう一棟の離れの
間の「路地」の向こうには、
小さな「畑」が。
その一角のベンチには
「神の座」とベンキで。
眼下に爽快な眺めに
「まるで神になったような
気分」と瀬戸本氏。

Masaru Nakanishi Residence



白亜の壁に、三角形のタイルのグリーンがアクセント。
塀には車輪があしらわれ、
異国情緒漂う雰囲気を醸している。

(株)アンヌーヴォオ生活美学倶楽部 榎本靖子邸

取り壊す寸前の淡路島の民家
を買い取り、「匠家おかげ庵」
として活用している行動派の榎
本さん。35年住み慣れた神戸
のお宅はテラスと一体化したり
ピング、らせん階段のホール、
バルコニーに直結したバスルー
ムなど彼女のキャラクターと同
じく、大胆不敵。

「家のことは思い切りやる方

が面白い。萎縮しないことが大
切なのです。生活の中では、小
さなアイデアで空間は広がりま
す。榎本さんは自分のまわりの
空間をどんどん変えていく。ま
さに「建築家」の仕事です」と
瀬戸本氏。生成のカーテンが
心地良さに風にそよぎ、テラ
スから木洩れ日が注ぐリビング
は居心地が良く、おのずと会話

も弾む。「おかげ庵の敷地に、
世界一小さなコンサートホール
をつくって、そのドアを世界一
美しい扉にしたいの！」と榎本
さん。世界一……。しかもそれを
実現してしまうパワーを秘めて
いるからすごい。「みんなが楽
しいこと。それが人生最大の楽
しみ」という榎本さん。いろい
ろな人と喜びを共有したいとい
う気持ち、空間に満ちあふれ
ていた。



榎本さんがスペインで見つけた
というカメオが施された貝を
照明にするアイデア。
調度品はヨーロッパ各国のものが多く、
南欧のイメージが漂う。

空間を愉しむのが榎本氏。
家のすみずみまで、
やさしさと何気ない
心地よさが。



バスルームは2階で、
バルコニーに直結し、
浴室から遠く海を望むことも。
夜景を眺め、夜風で涼む…。
「どこかに楽しいポイントがあると、
生活が豊かになります」
と瀬戸本氏。

らせん階段は、「もともと庭の部分を
改造しました」と榎本さん。
「私、5年に1度はどうしても
家に手を入れたいくなりますの(笑)」。



玄関やリビング奥の部屋には、三浦啓子さんのステンドグラスが。外窓とステンドグラスの間に照明を施し、夜はまた違うムードを奏でる。

何気なく置いてあるトランクは、スハルト元大統領に選ばれた木工作家、バスキー氏の作品。ジャワ原住民伝統の模様がチーク材に刻まれて、息を呑むような繊細さだ。

「どこの国の家の玄関なのでしょうね(笑)」と瀬戸本氏。ミントグリーンと白の配色は独特のリゾート感を演出し、「ハワイのモアナホテルを思わせます」。

リビングの中央から、海側(写真上)と山側(写真下)を。季節を彩るテラスから玄関のホールまで空間が連結し、光が流れるように抜ける。「鏡やガラスを上手にを使って、広がりを見せる工夫がある。このストリームが面白いですね」と瀬戸本氏。

Yasuko Enomoto Residence



玄関とリビングを結ぶ階段のホールには、六甲から北光線がやわらかく注ぐ。「しかし大胆な床ですねえ」と笑顔の瀬戸本氏。どこかわくわくする空間だ。

書家 高砂京子邸

独創的な作風で、書の可能性を切り拓く高砂さん。「大事なことは、こうでなければいけない」という固定概念を取り外すこと。そこから自分らしさが湧き出てくるのです」という言葉通り、家からも彼女らしさが伝わってくる。

玄関ドアを開けると、パッと視界が広がる。「家に人が来る

ことが大切。すぐに帰ってしまいう人にも、空間を楽しんでいただければ…」という高砂さん。「それはすごいコンセプトです。人の出会いを大切にすること。それは、書家のお仕事でも大切なことなのでしょう。ありそうでない玄関です。玄関以外にも一つひとつの空間にコンセプトがあり、メリハリがある。息苦し

さがなく、どこか通りがよい。高砂さんのスパットした性格が出ていますね」と瀬戸本氏。ピンクの洋風な外観の印象とは違い、書家の家らしく「世界が求める和の意匠」がある。そして光を積極的、効果的に使っている印象が。瀬戸本氏は「いろいろ試されてるようなので、四・五年後が楽しみです」と熟成されゆく空間に思いを馳せた。



玄関から事務室へつながる廊下は、「作品の搬出に便利ように」と幅が広め。その空間は、ギャラリースペースとしても活用されているばかりか、書を描くアトリエがわりにも。一石三鳥だ。

「決められた枠をはずすことが書家には必要」と語る高砂さんのお宅は、その通り自由な発想が随所に伺える。



広い和室。そして「作品とのバランスを考え、広く見せるように」という床の間は、シンプルながら趣深く演出されている。

山と田を借景とする
玄関ホール窓は、「一幅の絵画」だった。しかし前に家が建った今は、小粋なオブジェを掛け新しい風情を。玄関は吹き抜け、廊下、そしてこの窓と上下前後左右に抜ける空間。



Kyoko Takasago Residence

ユニークな書の作品は、もちろん高砂さんの筆。まずは額から創ったというこの書は、「木」の字をモチーフに寄り添うようなイメージが。「木の精霊というか、妖精というか、そんな空気を感じますね」と瀬戸本氏。

床の間に何気なく生けられた鶏頭も「高砂流」。プラチナなどを使用した近藤高弘氏作の「銀滴彩」の角筥に、「完璧に宇宙がある。天の川にも見える」と瀬戸本氏。近藤孝弘氏は人間国宝の陶芸家、染付で知られる近藤悠三氏の孫にあたる。

和室は縁側に囲まれ、その先には梅や山茶花が歳時記のごとく彩る坪庭。坪庭のつくばいには何気なくトルコキキョウが生けられている。雪見障子が情趣を醸す。

2階の洋室には大きな窓が大胆に。窓からは降り注ぐ星空が満喫できるとか。

家の正面には、大きく育った植木が天を掴まばかり。「日本中探してもこんな木はないですよ!窓も、空間も、そして木も、この家は何もかもが大きいですね(笑)」と瀬戸本氏。



家の裏の庭は、公園のようなスペース。バーベキューも楽しめる。「三角形の敷地に建物を建て、残った空間を上手に活用していますね」と瀬戸本氏。いちじくの木が実を結んでいた。

「何が違いの?」「?」「?」「?」
「聞いたことあるけれど、」
「何?」「?」

「それって本当?」

住宅についての素朴な疑問にお答えし、
あなたの「もやもや」を解消します!

Q 最寄り駅から徒歩5分。
さて何メートル?

A 不動産の表示に関する公正競争規約には「徒歩による所要時間は、道路距離80メートルにつき1分間を要するものとして算出した数値を表示すること。この場合において、1分間未満の端数が生じたときは1分間として計算すること」とあります。物件と駅までの道路の最短距離が基準です。

つまり徒歩5分は、5(分)×80(メートル)の400メートルとなりませんが、端数も含むので320メートルをこえて400メートル以下の範囲となります。

毎分80メートルというスピードは、時速にすると4.8キロ。成人が軽快に歩くくらいのスピードです。信号待ちや坂道を考

慮してありませんので、物件検討の際には実際に歩いてみることをおすすめします。

Q 2×4(ツーバイフォー)工法って何?

A 2×4工法とは、北米で誕生・発展した「枠組壁工法」のこと。躯体を構成する時に、断面2インチ×4インチの部材を多く使用することから、2×4とよばれています。

その特徴をひとことで表せば「線」ではなく「面」で支える構造。規格化された構造用製材と補強金物で組まれた枠組みに構造用合板などを張ったパネルを組み合わせ、箱をつくるように家を組み立てます。

「面」で支える2×4の家は、力が面で分散されるので、外力に対し建物全体で負担すること

により抑制・吸収する特性を持っています。揺れに対しても垂直面で変形・倒壊を防ぎ、水平面でねじれを防止します。阪神淡路大震災でもその威力を発揮しました。また、機密性も高い構造で、断熱性や遮音性にすぐれています。北米では戸建て木造住宅の約9割が2×4と高く評価されています。

ちなみに日本最古の2×4住宅は、東灘区の富永家住宅。大正末期の建物で、現在も住居として使用されています。

Q 「建築家」と「建築士」の違いは?

A 「建築士」は国家資格で、国家試験に合格した建物の設計、工事監理等を行う技術者です。

一方「建築家」については、日本国内では、法令などでまだきっちり定義されていません。建築設計監理をおこなう者で、作家性や作品性の高い人が「建築家」と言われているのが現状です。さらに、建築家はクライアントと直接契約して実務にあ



近代を代表する建築家、
フランク・ロイド・ライトが設計した
ヨコヤマ迎賓館（旧山邑邸）

ポイントです。
海外では法令等で規定され、アメリカではいくつかの試験に合格し登録料を払います。イギリスでは特定の教育研修機関でのディプロマ（免状）取得と一定期間の実務経験がないと建築家にはなれません。
日本建築家協会（JIA）に加入するには、建築監理の実務経験が重視されます。建築監理の実務をおこなうには建築士の資格は不可欠なので、必然的に建築士でないとは加入できないのです。世界水準に照準を合わせ、JIAは建築家の国家資格制度の実現を目指しています。
また、2005年、新たにAPPEC（アジア太平洋経済協力会議の枠組み内では「APPECアーキテクト」が創設され、建築課程の修了や一級建築士資格、豊富な実務経験などの条件を満た

たし審査を通過した者が登録されるようになりました。今後、国内やアジア太平洋地域はもとより、世界的な「建築家」の基準として注目されるでしょう。
「建築家」とは、設計監理業務はもちろん、空間を自らの感性や論理でプロデュースできる「建築士」と考えるのが適当でしょう。
AQ 日本最古の民家が神戸にあるって本当？
神戸市北区にある箱木家住宅は、14世紀に建てられたと推定され、現存する民家の中では日本最古のものとされています。近世から「千年家」と呼ばれるくらい古く、江戸時代の書「撰津名所図絵」にも大同元年（806）に建てられたという記述が認められます。
しかし、「千年」というのは少し大きすぎなようです。建物は吞吐ダム建設により水没するため、約70メートル東南に移築され保存されています。その際



箱木家住宅（箱木千年家）
神戸市北区山田町衝原字道南1-4
☎078-581-1740
アクセス 神戸電鉄箕谷駅よりバス111系統
終点「衝原」下車、すぐ。
入館料 大人300円・小中学生150円
開館時間 9時～18時（冬季は～17時）
年末年始は休館

の解体調査と敷地跡の発掘調査により、室町時代頃に建てられた「母屋（おもや）」と江戸時代中期に建てられた「離れ」とを一つの屋根に収めた構成であったことがわかり、現在は「母屋」と「離れ」を分離し建築当初の形を再現しています。
箱木家は古くからこの地方の土豪として栄え、代々庄屋をつとめてきた家柄です。昭和42年に国指定重要文化財となり、住宅の歴史を知る上でも、郷土の生活を伝える上でも、貴重なものとなっています。
梁や柱などの部材には、今でも建築当初のものが使用されています。悠久の時の流れに育まれた風格のある民家です。